



白山小学校学校運営協議会

はくざんコミュニティ・スクールだより

すくすく健康部会



麦踏みをしたよ！

1月14日に、1年生が、少し大きくなった麦の苗を踏みました。最初に、サポーターの方から麦踏みのコツを聞いて、ゆっくり踏んでいきました。子どもたちは、麦踏みをすると苗が丈夫になることを聞いて、「大きくなあれ」と口ずさみながら根っここの部分をしっかりと踏んでいきました。春の収穫が楽しみです。



令和8年1月26日発行 第8号



わくわく学習部会



世界の国を知ろう！



ブラジル



オーストラリア

4年生は、はくざんっ子学習「世界の文化を知ろう！」でゲストティーチャーを招いて「ブラジル」「アメリカ」「韓国」「カナダ」「オーストラリア」「ニュージーランド」の6つの国について教えてもらいました。子どもたちは、それぞれの国の文化や生活を知り、日本との違いに、驚いたり感心したりしながら興味深く聞き入っていました。そして、いろいろな国の文化や生活に興味を持つことで世界へ目を向ける貴重な時間になりました。



韓国



アメリカ



ニュージーランド



カナダ



ニュースポーツクラブ



ニュースポーツクラブでは、ユニカール協会の方々がサポーターとなってユニカールの指導をしてくれています。従来のスポーツとは違い、誰でも気軽にすぐ楽しむことのできることを目的に新しく考案されアレンジされたスポーツです。子どもたちは、コツを教えてもらってだんだん上手になって楽しく練習できていました。試合形式では、歓声を上げて盛り上がっていました。



ハンセン病問題学習



1月16日に、5年生ははくざんっ子学習で大島青松園の職員4名の方を講師に迎えて、「ハンセン病問題学習」を行いました。最初に、大島青松園の入所者の方からオンラインでお話を聞きし、苦しかった生活や差別や偏見に苦しんだことを知りました。また、職員の方からは、ハンセン病についてお話を聞き、「正しく知ること、うわさや見た目で決めつけないこと、相手の気持ちを考えること」が大切だと教えてもらいました。最後に、義肢装具士の方から、入所者さんのためにいろいろな工夫をされて使いやすくなっている装具を体験させてもらいました。子どもたちは、正しい知識で、差別や偏見を持たず人権を守る大切さを知りました。



私が話を聞いて分かったことは、ハンセン病にかかる人は感覚がない人が多いということです。いたみが分からないとケガをした所が分からないのでよく観察しないいけないことが分かりました。次に食べる時の箸具です。指が曲がるので手のひらにユ-字の物を付けて食べることがわかりました。付けてみて外れたりしながたので食べやすくなと思いました。これからは、ちがいを理由に人を遠ざけず、きずつれない人になって正に学ぶということを意識していきたいです。その具を付けてみたりたくさんのこと教えてくれてありがとうございました。

先日は、ハンセン病のことについてくわしく教えていただき、ありがとうございました。今回教えてくださったハンセン病のことでもたくさん分かったことがあります。一番大目にしたい、守りたいと思ふことは、正しくなり、まちがったことをまちがえたままで広めないことです。これを守るだけで、だれもきずつけず、差別をなくすのが第一歩になると、改めて気がつきました。これから差別はもう3人、だれか一人でも悲しい思いをしないよう、していきたいです。

先日は、ハンセン病について教えてくれてありがとうございました。里野村さんの経験で、様々なことが分かりました。入る決まりはあても出る決まりは無く、死んででも出られないといふ話を聞いて、今までに免強した内容に加えて、他にも色々なことが知りました。ついでに、今でも色々なことがあります。ついでに、今では元ハンセン病患者の方が元気にくらしていると思ううれしいです。今、ハンセン病のことを知ったので、変なうわさも信じません。野村さんが教えてくれたことは、親に教えました。もう誰も差別しないようにしたいです。



昔遊びを楽しもう



1月16日に1年生が老人会の方たちに昔の遊びを教えてもらいました。こま、竹とんぼ、竹馬、お手玉、けん玉、おはじき、あやとりの7つの遊びを体験しました。子どもたちはこの日をとても楽しみにしていて、老人会の方たちも、子どもたちとのふれあいを楽しみながら丁寧に教えてくれました。子どもたちは上手にできると自然と笑顔がこぼれています。

